



2011年10月31日号

号 外

(民主党宮崎県参議院選挙区第1総支部版)

民主党プレス民主編集部

〒100-0014

東京都千代田区永田町1-11-1

電話03-3595-9988(代表)

press@dpj.or.jp

http://www.dpj.or.jp

参議院議員 外山イツキ

いっき通信



TPPについて語る

○聞き手…本題に入ります前に、野田新内閣についてお聞かせください。

○外山…民主党へ政権が代わって、3人目の総理となります。我々としてこれまでの2年間で反省すべきところは反省し、また民主党政権だからこそ実行できたことは自信を持って推進していかねばなりません。野田新内閣が発足し、民主党の党内人事も行われました。その中で私は陳情要請対応本部副本部長兼組織委員会副委員長に就任しました。役割としては、九州全ての自治体からいただく陳情・要望の担当となります。地元宮崎そして九州各県からの要望が一つでも実現するように全力を挙げて務めて参ります。



○聞き手…それでは本題に入りたいと思います。いま新聞等で盛んに話題に上っているTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)ですが、現在の政府や民主党内ではどのような議論がなされていますか。

○外山…先ごろ行われた閣僚人事、党内人事を見ていますと、政府や民主党執行部はTPP推進に舵を切ろうとしているように思えます。ただ、このTPPに関しては、党内は完全に二分されております。民主党内では昨年頃からTPPを含む経済連携に関してプロジェクトチームを作り、昨年は13回協議しましたし、今年は11回協議を行う予定です。私としてはTPPに関する正確な情報が得られない中での交渉参加は絶対に避けるべきだと考えます。

○聞き手…マスコミの報道でも推進すべきとの声を大きく感じますが。

○外山…国際社会において自由貿易協定を結ぶ動きが活発化しており、この国際的な流れに遅れてはいけないという焦りもあるのではないのでしょうか。そこで政府も経済界もTPPに活路を求めようとしているように思います。ただ、この国でTPPに関して正確な情報を持ち合わせている人は、政界にも経済界にも、一般の方にも誰一人いないと思います。そのような実態の分からないものを推進しようとする動きに対しては異を唱えざるを得ません。よく「米韓はFTA(自由貿易協定)を結んだのだから日本もTPPを急げ」という論調で

国政報告会 in 日南

原口 一博 元総務大臣 来たる！

日 時 平成23年12月11日(日) 11:30～(受付11:00より)

会 場 かんぼの宿日南 ホール「青島」

会 費 3,000円



報道されますが、TPPとFTAは全く別物です。FTAでは協定を結ぶ時に当事国同士で交渉をし、それぞれの国が主義主張出来ます。よって、FTAは例外を設けることが可能ですが、TPPではそれが出来ないません。もし我が国が自由貿易を進めるならば2国間FTAや「ASEAN+3」(ASEAN諸国に日中韓を加えた自由貿易圏)にこそ活路を見出すべきです。

○聞き手… TPPは日本の利益にはならないように感じますが、いったい何を狙っているのでしょうか。

○外山… 元々は、4か国でスタートした自由貿易圏の確立を目指したもので、加盟した国々の「ヒト・モノ・カネ・サービス」を全てオープンにするものです。それにアメリカのオバマ政権が自国の権益拡大のために目を付け、米国企業のTPP参加国市場への参入を促そうという狙いが見えます。我が国としてはそういった事情に翻弄されることなく自国の国益を第一に考えて対応すべきです。

○聞き手… 産業界の空洞化に対してTPPを推進しようといった声もありますが。

○外山… 確かに空洞化の問題は深刻だと思えます。しかしながら、空洞化の主な理由は、関税よりも円高の影響が大きいわけです。我々がやらなければならないのは自由貿易の推進によって空洞化を解消するという安易な発想ではなく、円高対策を真剣に考え根本的な対策に

取り組み、この問題の解消を図らなければなりません。そうしなければ仮に自由貿易圏に入ったとしても、産業の空洞化は止まることはないと思います。

○聞き手… これも新聞等で使われる表現ですが、TPPとは輸出業界と農業の対立なんではないでしょうか。

○外山… よくマスコミでは、「農業vs輸出産業」といった構図で報道されておりますが、それは全くの誤りです。この問題は農業以外の方々にも大きな影響を及ぼします。TPP参加となれば、特に医療分野に与える影響が大きいのではないのでしょうか。このまま参加となるとアメリカのように貧しい者は医療サービスを受けることが出来ないといった形が近い将来日本にも生まれてしまいます。

○聞き手… これまでお聞きすると、TPP参加は日本の危機だと感じますが。

○外山… このTPPは「我が国のかたちを変える」といった大きな問題です。全ての国民が正確な情報を把握し、犠牲を払うという覚悟があるというのであれば、推進といった選択肢もあるでしょう。しかし、現時点で多くの国民のみなさんがこのTPPを正確に理解しているとは到底思えません。またこれまで述べたような理由から、国益を第一優先に考えなければならぬ国会議員の一人としてTPPは推進できません。これらの観点から今後も党や政府に対して強く訴えて参ります。

9月11日・12日 長崎県・対馬 福岡県・大島

来年の離島振興法改正に向け、民主党離島政策PTで外海離島及び一部離島の現状視察として、長崎県対馬と福岡県大島を視察しました。対馬では市民とのタウンミーティングも開催され、活発な意見交換を行いました。



電動漁船の視察



離島振興を考えるタウンミーティング



漂着ごみ現状視察



地域医療に関するヒアリング

10月11日 宮崎県・油津港

九州地方整備局宮崎空港・港湾事務所の協力で油津港の視察を行いました。県内に3つある重要港湾で唯一耐震岸壁のない油津港の現状を視察し、地元日南市や港湾建設業者などと意見交換を行いました。



船上より港を視察



岸壁の視察



港内の倉庫を視察



自治体、業者との意見交換

東日本大震災視察報告

3月11日に発生した未曾有の震災から7カ月以上が過ぎました。これまで5回現地入りをし、被災地の現状を実際に見聞きすることで、1日も早い復興へ向けて努力しているところです。今回は5月16日(3回目)、8月7日・8日(4回目)について報告致します。

5月16日

宮城県仙台市、福島県相馬市

3回目は民主党日本バス議員連盟の被災状況視察調査団として、宮城県仙台市、福島県相馬市を視察しました。公共交通網の被災状況を視察し、現地の自治体やバス協会との意見交換を行いました。



8月7日・8日

宮城県石巻市、東松島市、南三陸町

4回目は宮崎の大学生(宮崎公立大14名、宮崎大学2名)と一緒にボランティア活動で、壊滅的な被害を受けた中学校の片づけ作業や現地の方を励ます炊き出しの手伝いに参加してきました。



視察報告

9月21日・22日 民主党港湾議員連盟による釜山港視察

国際的に船舶貨物のトップクラスの物流量を誇る釜山港の現状を知り、我が国の港湾政策の参考にするため視察を行いました。視察には、国土交通省港湾局の職員の方たちにも同行いただきました。

現地では、釜山新港、韓進海運、旧港、物流団地を視察し、釜山港湾公社の盧社長をはじめ、釜関フェリーの幹部や釜山新港物流団地の担当者などとの意見交換を行いました。



物流団地内のルノー・サムソンの倉庫視察



釜山港ガントリークレーン



釜山港湾公社の盧社長と意見交換



釜関フェリーからのヒアリング



実弾射撃場火災現場を吊問

Topic1 民主党陳情要請対応本部 副本部長に就任

先般行われました党内人事において、「民主党陳情要請対応本部」の副本部長に就任しました。役割としては九州全土の自治体からいただく陳情要請を担当しており、国会の開会、閉会を問わず様々な要望に対応しております。みなさんからの陳情要請が一つでも多く実現できるよう努力して参ります。



佐賀県港湾協会より要望



九州各地の首長による九州治水期成同盟会より要望



旧軍港市振興協議会の横須賀市・佐世保市より要望

Topic2 県内各地でミニ集会開催中



延岡市北川町にて



宮崎市清武町にて



宮崎市にて



小林市野尻町にて



えびの市にて



串間市にて

国会開会中は週末を使い、閉会中は平日も含めて県内至る所でミニ集会を開催しています。「国会議員はどんなことをしているの?」「こんな問題で困っているんだけど」などなどありましたら事務所までご連絡を。疑問解決に外山イツキは伺います。



連絡先：〒880-0013

宮崎県宮崎市松橋1丁目16-11 カルナコート1F
民主党宮崎県参議院選挙区第1総支部
参議院議員 外山イツキ 事務所

<http://www.izki-toyama.com>

いつきブログ毎日更新中!! 「いつきブログ」で検索!!

いつきブログ

検索